ハンガー付き ステンレス洗濯機棚 HC-11

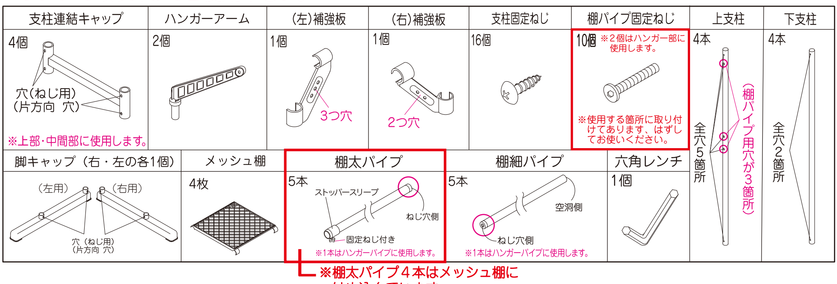
組み立て、ご使用に際しましては下記の説明書をよくお読みください。また、説明書は必要な時、確認できるように保管してください。

■製品外寸法(約):幅61cm~93cm、奥行き56cm(脚部49cm)、高さ183cm
■有効内寸法(約):幅55cm~87cm　■棚部有効寸法:幅52cm×奥行き27.5cm
■耐荷重:棚一段あたり5kg、ハンガー部3kg

取り扱い説明書

部品一覧

※組み立て前に部品が揃っているか確認し、セットにして並べておくと組み立て易くなります。
※各パイプの端部(下図○部)には、固定ねじが取り付けられてあります。ご面倒ですが組み立て前にレンチで取り外してご使用下さい。



※棚太パイプ4本はメッシュ棚にはめ込んでいます。

● ⊕プラスドライバーをご用意ください。(お手数ですが組み立て時、必要となります。)

組み立て方法

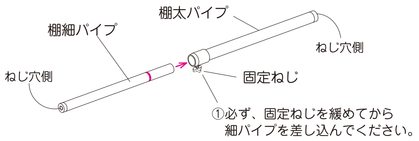
●パイプの切り口や穴等には手を触れないでください。ケガの恐れがあります。
●手袋を着用して作業を行ってください。
●広い平らな場所で組立作業を行い、床などにキズをつけないように注意してください。
●小さな部品がありますので、お子様がさわらないよう注意してください。
●各部品の向きを確かめてから組立作業に入ってください。
●ねじ類はいきなり強く締め付けてしまわず、部品が外れない程度に仮組みし、全体のバランスを整えながらしっかりと締め付けてください。
●組み立て作業は、本体を横に倒して行うと組み立てやすくなります。

■手順1 棚パイプ部・ハンガーパイプ部の組み立て(幅寸法を決める。)

※メッシュ棚は一旦外してから、組み立て作業を行ってください。

棚太パイプに、棚細パイプを差込み、長さを仮決めします。
パイプがずれない程度に固定ねじを仮締めします。

注意:5セットを組み立て致します。(※1セットはハンガーパイプ部に使用)
※ハンガーパイプ部の組み立て時には幅寸法の調整が必要です。
注意:パイプの方向に注意してください。(空洞側とねじ穴側があります。)
注意:細パイプの赤線を基準にそれ以上長く伸ばさないでください。



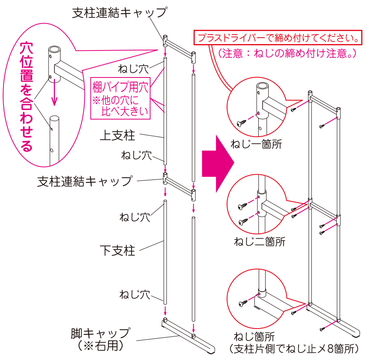
②幅寸法は5本共、同じ長さにします。
(注意:ハンガーパイプは後ほど寸法調整を致します。)
③パイプがずれない程度に固定ねじを締め付け仮固定します。

■手順2 左右・支柱の組み立て

※床にねかせて、ねじれが起きないようにして組み立てると容易に行う事が出来ます。(※床面のキズ等に注意してください。)
①下図のように、脚キャップ、支柱連結キャップに下支柱・上支柱を底まではめ込みます。(※脚キャップは右用・左用があります。ねじ穴の方向が異なります。)
注意:上支柱・下支柱の区別がありますので注意してください。
注意:上支柱は全部で5個の穴があいています。
※棚パイプ用穴3箇所を上側にしてください。
注意:キャップ穴、パイプ穴をきっちり合わせてください。

②キャップ穴とパイプ穴を合わせ、ねじれ等を調整し付属の支柱固定ねじで締め付けます。(プラスドライバーで締め付けてください。)
注意:ねじの締め付けすぎに注意!(ねじ穴破損の恐れがあります。)
注意:ねじは真っ直ぐに入れて、締め付けてください。

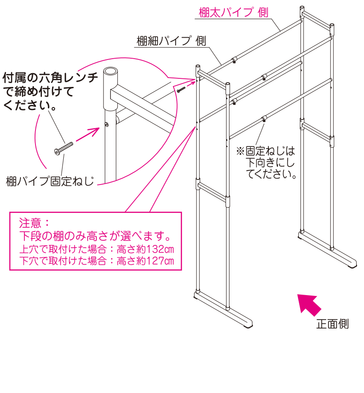
※下図は右側支柱のみ組み立て



■手順3 支柱部と棚パイプ部の組み立て

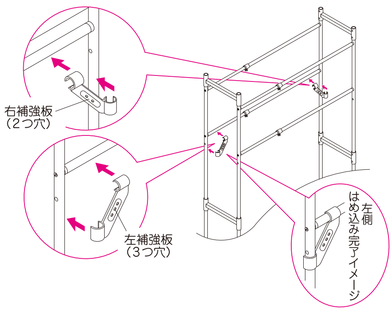
①手順1で組み立てた「棚パイプ部」と「支柱部」を組み合わせます。
※支柱キャップのねじ側を内向きにしてご使用ください。
ねじれ等を調整し、棚パイプ固定ねじを締め付けてください。
棚パイプ固定ねじを付属の六角レンチでしっかり締め付けます。

注意:棚太パイプ側を下図のように(向かって右)なるように組み立てします。



■手順4 補強板を棚パイプと支柱パイプに取り付け

下図のように、下段のパイプにしっかり押し込んで各々の補強板をはめ込んでください。(注意)指をはさまないように注意してください。

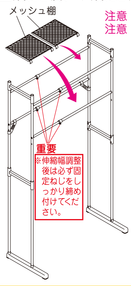


注意:内寸法(幅)が約64cm以下の場合、棚細パイプ側には「左補強板」がご使用になれませんので、ご注意ください。
注意:補強板は右用、左用がありますのでご注意ください。
注意:補強板をはめる際には、指などを挟まないように十分に気をつけてください。

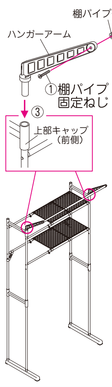
■手順5 メッシュ棚を棚太パイプ側にはめ込む

下図のように、メッシュ棚を上段・下段にはめ込みます。
上段に2枚、下段に2枚はめ込みます。

注意:はめ込む時、指を挟まないようにしてください。
注意:メッシュ棚は必ず棚太パイプ側にはめ込みます。



■手順6 ハンガー部の組み立て



ハンガーアームと手順1で組み立てた棚パイプ部を棚パイプ固定ねじで組み立てします。

①ハンガーアームと棚パイプ部を棚パイプ固定ねじで組み立てします。
②一旦、固定ねじをゆるめパイプの幅調整をします。
※伸縮幅の最大時には細パイプの赤線から1cmほど長くなりますが、使用上問題はありません。
③ハンガーアームを上部キャップの前側にしっかり奥まで差し込みます。
④ゆがみ等を調整してハンガー部の固定ねじ②をしっかり締め付けます。
⑤棚パイプ部の固定ねじ等、締め忘れが無いか各所を点検してください。
⑥汚れなど乾いた布で拭き取ってから、ご使用ください。

⚠使用上の注意事項

●この商品は屋内用です。洗濯機用の棚以外の用途には使用しないでください。
●しっかりした水平な所でご使用ください。
●直射日光の当たる所、高温となる所、また浴室のような湿度の高い所では使用しないでください。(劣化や錆の原因になります。)
●ステンレス巻き パイプを使用しています。パイプの内部(鉄製)に水滴などが入ると錆の原因になります。表面のステンレス層に「もらい錆」が発生することがありますが、早期の場合、目の細かいサンドペーパーやクレンザーで取り除くことができます。
●万一に備え、危険物、貴重品、破損の恐れのあるものなどを載せたり、掛けたりしないでください。
●必ず表示耐荷重の範囲内で使用してください。また、倒れないように荷重はバランスよく載せたり掛けたりしてください。特にハンガーパイプにおいては耐荷重範囲内であってもバランスによって前倒れしないか注意してください。(※耐荷重は測定値であり、保証するものではありません。)
●荷重は急激に掛けないでください。転倒や破損の原因になります。
●移動時は載せてあるもの、掛けてあるものをすべて取り除いてください。
●幅寸法は伸縮範囲内でお使いください。
構造上、力を加えますと多少のゆれが生じますが通常使用においては差し支えございません。
●支柱や棚を強くゆすったり、体重をかけたり、ぶら下がるなどの行為は絶対にしないでください。(※小さな お子様には特に注意してください。)
●発熱器具、燃焼器具などの傍や、上で使用したり、また、それらを棚に載せたりしないでください。
●消臭剤、芳香剤、化粧品、整髪料、酸性またはアルカリ性洗剤、油脂、また、ベンジン・シンナーなど有機溶剤の付着は変質劣化の原因になります。直ちに取り除いてください。
●酸性洗剤、タイル用洗剤、漂白剤の使用は錆、破損の原因になります。
●使用中、ゆがみ、ねじれ、ねじの緩み、樹脂部のひび割れなどが発生する場合があります。定期的に点検を行い調整を行ってください。
●異常やひび割れなどが発生した場合は直ちに使用を中止してください。
●汚れは、水で薄めた中性洗剤で拭き取り、洗剤分が残らないよう ふき取った後、乾いた布で拭き取ってください。たわし、磨き粉で磨くと傷がつきます。
●パイプ部分に油分が付着している場合がありますが防錆油です。使用上問題ありませんが、他のものに付く恐れがあります。拭き取ってからご使用ください。
●天災などの不可抗力や、改造・経年劣化または誤った使用方法による故障・破損・事故などに対する補償等はいたしかねます。

材質表示
パイプ類:ステンレス被覆鋼管
樹脂部品:PP樹脂、ABS樹脂
ねじ類:鉄製・メッキ仕上げ

外装 紙
ハトメ:PP
部品袋:PE

MADE IN CHINA　020209N

※予告なく仕様及び外観を変更することがありますのでご了承ください。製品につきましては万全を期しておりますが、パーツ過不足などがございましたら弊社までご連絡くださいますようお願い申し上げます。
※印刷の都合上、色相は実物と異なる場合もございます。